

校長先生の日記③⑧ 久しぶりの雪に大はしゃぎ！



もしかして、今年の雪はこれで終わりかな？と日に日に小さくなっていく雪の塊をみていたら、立春を過ぎた大雪。中庭に積まれた雪の山の周りで6年生のみなさんが体育の授業を楽しんでいました。雪投げしたり、滑ったり、転んだり。思い思いに雪の感触を楽しんでいました。校長室の窓の外にかわいい雪だるまを並べてくれる優しくて、ユーモアのある6年生です！

1月もいっぱい勉強して、いっぱい活動している子どもたちです！



4年生が自分で漉いたはがきが完成して、届きました。子どもたちのはがきは、どれもセンスがよく、あまり考えずに本能のままやっているようでしたが、これが子どもたちの感性なんだなと思知らされました。作為的にやった自分の作品は……。子どもたちはみんな褒めてくれました。これで本命の修了証書もじきに届くと思います。3月1日が初等部の修了証書授与式です。



吹奏楽部のみなさんが、アンサンブルコンクールに出場してきました。管楽器6重奏、打楽器3重奏という同じ種類の楽器のメンバーが集まって演奏するスタイルです。より一人一人の力が試されるコンクールとなっています。どちらも銅賞を獲得し、来年度の大会に向けて弾みをつけてくれました。結果もさることながら、いろいろな場所で、子どもたちが力を発揮してくることは、本当に嬉しいことです。



信濃小中学校では、冬になると1年生から6年生までの全員が、クロスカントリースキーを行います。2学期末は雪不足でスキーもままなりませんでしたが、3学期になり十分な雪の上で、スキーを楽しんでいます。高学年は、校庭では物足りないのので、近くの田んぼまで行って滑ります。これは信濃小中学校ならではの、冬の体育の光景です。スキー教室1・2年生はアルペン、3～6年生はクロスカントリーです。地元の黒姫高原で楽しみます。せっかく信濃町に生まれたのだから、スキーは体験してもらいたいです。松本出身の自分はスケートが地元の競技です。スキーをもっと早くやりたかったなとも思っていました。本当にうらやましいです。(今年クロスカントリースキー初挑戦しました！)



3年生が長野市消防局鳥居川分署に見学に行きました。市民の安全を守ってくれているみなさんの仕事について、しっかり学んでおくことができました。分署に着いて見学が始まると同時に、入電があり、救急車が出勤しました。それまで笑顔で説明してくれていた署員の方の顔が急に険しくなり、「これから出勤してきます」と準備にかかり、2分足らずで出勤していきました。その緊張感にまずは、驚かされた3年生でした。それからは、消防車を見せてもらったり、事務所の中で質問に答えてもらったりして、たっぷり勉強させていただきました。所員さんを質問攻めにしてしまう場面もあったようで、3年生の探究心には脱帽です！将来も期待していますよ！



給食にココア揚げパンができました！給食センターで丁寧に揚げいただき、ココアをまぶしていただきました。手作りです！本当においしくて、ペロリといただいてしまいました。ココアなので、低学年のみなさんは、口の周りを真っ黒にさせていただいたようです！
いつも本当にありがとうございます！



クロスカントリースキー、アルペンスキーの大会がありました。どちらも全力で闘い、それぞれの記録を打ち立ててきてくれました。クロスの1名は、7日に行われる全国大会に出場します。本当に過酷なスポーツですが、よく頑張っています。子どもたちの頑張りには、心を打たれます！学校で見る姿とは違った、頼もしさが出ています！



8年生が「立志式」を行いました。自分の目標を打ち立て、「大人」になるための節目となる式です。一人一人が自分の決意を発表してくれました。これまでの自分を振り返り、これからの自分に必要なことは何かをしっかりと見極め、目標を決めてくれました。保護者のみなさまにも見守っていただき、佐藤尚人教育長様にもご臨席を賜りました。8年生の素直さと、団結力の強さが伝わってくる、とてもいい式となりました。これからの8年生の活躍が楽しみです！